

非文字資料研究

The Study of Nonwritten Cultural Materials

NewsLetter

2003.12

No.2

CONTENTS

表紙写真説明



香川県下川津遺跡出土犁
(香川県埋蔵文化財センター)



徳島県貞光町の犁
(貞光町教育委員会)

徳島県貞光町は吉野川中流域の町、その教育委員会を訪ねて収集民具を見せてもらったおり、(写真右)の犁を見て内心アツとさげんでいた。7世紀後半の下川津遺跡出土犁(写真左)とあまりにそっくりだったからである。犁は牛に引かせて田畑を耕す畜力耕耘機で、上に伸びた犁へらで土を反転させる。犁へらは通例は鑄鉄製ののだが、この2例は犁床と一木造りという変わり種である。写真のような犁床の長い長床犁は中国系だが、民具調査を続けるなかで長床犁は大化改新政府が国力向上のため唐から導入し、地方に普及をはかったことが明らかになってきた。その際、地方では鉄の入手が困難という事情を勘案して一木犁へらのモデルを600台ほど造り、全国の評督(のちの郡司)のもとに届けたようである。(写真左)の下川津遺跡出土犁は政府モデルをコピーした当時の実用犁、(写真右)の貞光町の犁は大化改新政府のモデル犁が1300余年前にこの地にたしかに届いていたことを語る歴史の証人である。(河野 通明)

巻頭言 3

網野 善彦(神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所・元教授)

プロジェクトの構想および研究組織 4

橘川 俊忠

研究組織図 6

COE関係諸規程集

21世紀COEプログラム拠点形成に 7

関わる関係規程

1 神奈川大学21世紀COE拠点形成委員会規程

2 神奈川大学COEプログラム研究支援者に関する取扱規程

3 神奈川大学COEプログラム研究協力者に関する取扱規程

4 神奈川大学研究拠点形成費補助金取扱規程

参考: COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議内規

研究拠点紹介

歴史民俗資料学研究所 12

田上 繁

日本常民文化研究所 13

香月 洋一郎

外国語学研究所中国言語文化専攻 14

大里 浩秋

研究エッセイ ESSAY

「鮮漁」図のあれこれ 16

田島 佳也

鬼神の面 18

廣田 律子

景色(景観)が変わるといふこと 20

八久保 厚志

WWWのセキュリティ 22

木下 宏揚

研究会報告 SCIENCE REPORT

人類学の立場からの問題提起 24

川田 順造

民具という非文字資料から日本列島の古代多民族社会を復原する試み

河野 通明

主な研究活動 28

コラム 網野 暁(PD)・富澤 達三(PD) 30

MAP・研究担当者紹介・編集後記 他 31

Report & Information 32